

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：平成26年2月発行

第141号



クスリ箱を覗いてみましょう

田中 陽一(田中外科医院 院長)

みなさまのご家庭には大概1つや2つ、いわゆるクスリ箱なるものがあると思います(うちにはありませんが)。また、最近では規制緩和の名の下に(本来は医療費削減が目的?)以前なら医療施設を受診しなければ手に入らなかったクスリも薬局で手に入るようになりました。いずれのクスリも薬剤師さんのいう事をよく聴いて、言われた用量用法を守ってくれさえいれば副作用も少なく、よく効くおクスリです。

しかし、いったん間違えて服用すると取り返しのつかないことになることがあります。たとえば、あるクスリは用量を間違えると胃や腸に穴が開いて腹膜炎を起し、緊急手術が必要になったケースや、急性腎不全を起こし透析が必要となることもあります。また、あるクスリは一定の症状によく効くため連用され、同じ症状をもつ危険な病気のサインを隠してしまい、医療機関を受診した時にはかなり進行していた事が報告されています。塗りクスリについても同じような事が起こりえます。

そのような事故をなくすため次のことを守ってください。

- ① 薬局で購入するときは薬剤師さんの話をよく聴き、わからないことがあったら納得するまで質問してください。この際、目安となる服用(使用)日数も忘れずに聴いておきましょう。
- ② 配置薬の場合は説明書をよく読む。
- ③ 自分勝手に服用(使用)回数を増やさない。
- ④ 適切に服用(使用)しても症状が改善しない。あるいは悪化する、普段と違う症状が出た時などは速やかに医療機関を受診しましょう。

